

平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

事務事業名: 高齢者交流センター管理業務
予算事業名: 健康福祉課
会計名称: 一般会計
予算科目: 3 款 1 項 2 目
担当課: 健康福祉課
所属長名: 藤 充子
総合計画での位置づけ: 誰もが安心して暮らせる健康福祉のまち
事業の性格: 内部管理事務
事業の対象: 町内の高齢者
事業の目的: 高齢者の交流と健康増進に寄与する
改善策の具体的な取り組み(当初): 今後の施設のあり方を検討。

事業費及び財源内訳 (千円)
事業活動の実績 (活動指標)
項目: 直接事業費, 人件費, 合計
財源内訳: 国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源
事務量: ①人工数, ②人件費単価, ③補助事業人件費

向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)
23年度: 3,850
24年度: 3,850
25年度: 3,850
26年度: 3,850
27年度: 3,850
5年間の合計: 19,250

成果指標: 利用者数
指標設定の考え方: 高齢者の方に利用して頂き健康増進と交流に努めて頂いたかということで利用者数を指標する。
区分年度: 21年度, 22年度, 23年度
実績: 4937, 5136
目標: 4900, 4950, 5000

今年度の課題への対応状況(途中経過): 次年度に向けた運営状況等の検討。燃料費の高騰や利用者状況を踏まえ効率の良い運営のため、平成23年度より風呂の営業日を週5日から週3日へと変更決定。

自己評価(担当者)
目的の妥当性: 4
市民ニーズへの対応: 4
市の関与の妥当性: 3
事業の効果: 3
成果向上の可能性: 3
施策への貢献度: 4
手段の最適性: 3
コスト効率: 4
受益者負担の適正: 3
自己認識: B
所属長の課題認識: B

事務事業名	高齢者交流センター管理業務	予算事業名		担当課	健康福祉課
会計名称	一般会計	予算科目	3 款 1 項 2 目	所属長名	藤 充子
総合計画での位置づけ	誰もが安心して暮らせる健康福祉のまち			担当責任者名（記入者）	重山 大輔
				電話番号（内線）	
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等	久山町高齢者交流センター管理運営規則	
事業の対象	町内の高齢者		実施期間	【開始年度】	平成 22 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
事業の目的	高齢者の交流と健康増進に寄与する		事業の内容	高齢者に対して風呂や交流の部屋を提供する	
改善策の具体的な取り組み（当初）	今後の施設のあり方を検討。		改善策の具体的な取り組み（二次評価後）	燃料費高等などを受け効率の良い運営のため、平成23年度より風呂の営業日を週5日から週3日に変更決定。	

（担当責任者） 自己評価	妥当性	目的の妥当性	4	B	B	4	目的の妥当性	妥当性	（所属長） 一次評価	
		市民ニーズへの対応	4				4			市民ニーズへの対応
		市の関与の妥当性	3				3			市の関与の妥当性
	有効性	事業の効果	3	B		3	事業の効果	有効性		
		成果向上の可能性	3				3			成果向上の可能性
		施策への貢献度	4				4			施策への貢献度
	効率性	手段の最適性	3	B		3	手段の最適性	効率性		
		コスト効率	4				4			コスト効率
		受益者負担の適正	3				3			受益者負担の適正
課題認識	今後、施設の老朽化等に伴う修繕改築費用などの面から、今後の施設のあり方を検討する必要がある。 ← 自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 → 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。				多くの方が利用されているが、施設の老朽化に伴い修繕改築等が予想されるので、今後の施設のあり方を検討する必要がある。				課題認識	

施策を踏まえた判断	二次評価	<input type="checkbox"/>	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。		
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		<input type="checkbox"/>	一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。		
		<input type="checkbox"/>	市民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。 行政評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 施設の老朽化、修繕費、光熱費の高騰等を踏まえ、今後の施設のあり方を検討する必要がある。利用者が固定化しているため、より多くの高齢者が利用できるよう、高齢者の健康増進のためのイベント開催など、ソフト的事業の展開や、社会福祉協議会等の活動で積極的に活用していくなど、利用者数の増加策を検討していく必要がある。
------------	------	---